

中央防災会議「今後の地震対策のあり方に関する専門調査会」資料

目黒 公郎

(東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター)

私の考える防災対策の基本：

人命など、失った時点で補償のきかないものはハード(構造物)で守る以外にない(被害抑止力の重要性、これは兵庫県南部地震の最大の教訓である)

ソフトな対策は、社会が受ける負のインパクトをトータルとしていかに減らすかをめざすもの(ハードをいかにうまく運用するか、適正な強度のハードの整備をいかにして具体化するか、適切な災害マネジメントは?)

私の考える防災教育の基本：

発災時から時間の経過にともなって自分の周辺でどのような事が起こるかを具体的にイメージできる人を増やす。イメージできない状況に対しての適切な対処法の検討や準備などは所詮無理。

現在の防災対策における最大の課題：

災害状況イマジネーション能力の低さ(防災関係者もマスコミも、そして一般市民も)
人的被害をはじめとした、直後に発生する被害の大小を決定づける既存不適格構造物の耐震補強が進んでいないこと(我が国の地震防災上の最重要課題)
事前対策、復旧・復興対策を含めて総合的な防災力を身につける「防災マニュアル」が未整備であること

今回報告したい内容：

ユニバーサル地震災害状況シミュレータ構想(災害状況イマジネーションツールを含む)
新しい発想に基づいた既存不適格構造物の耐震補強推進策(長期地震予知情報の活用法を含む)
総合的な防災力を高める次世代型防災マニュアル(災害時最適人材運用計画の検討を含む)
発災直後から復旧・復興期までを対象とする新しい被災状況評価法(電力需要の変化を利用)

関連資料：

- 資料-1：目黒公郎：災害軽減ツールとしての数値シミュレータの可能性、「1995年兵庫県南部地震」5周年特別企画シンポジウム講演集，土木学会，2000.
- 資料-2：目黒公郎・高橋健：既存不適格建物の耐震補強推進策に関する基礎研究，地域安全学会論文集 No. 3，2001.
- 資料-3：吉村美保・目黒公郎：長期地震予知情報を利用した既存不適格住宅の耐震補強促進策について，地震工学研究発表会，2001.
- 資料-4：目黒公郎：使えないマニュアルから，使えるマニュアルへ 総合的な防災力/危機管理能力を向上させる次世代型防災マニュアルの構築，2001.
- 資料-5：目黒公郎：有事，限られた人材と情報，如何にして困難を乗り切るか，-災害時の最適人材運用法-，2001.
- 資料-6：秦康範・目黒公郎：電力供給の変動を利用した地震による建物被害評価の可能性について，地震工学研究発表会講演論文集，2001.